

下野市食生活改善推進協議会活動紹介

食生活改善推進協議会活動は、それぞれに活動の古い歴史がありましたが、平成18年1月10日の合併に伴い、4月28日「下野市食生活改善推進協議会」として統合し、設立総会を以って活動を開始しました。総会は、セレモニーとして、ピアノ&声楽の演奏や参加者の合唱など、和やかな雰囲気のもとに進行し、新役員、活動方針が決まり、今後は「下野市民の健康は私たちの手で」をスローガンに活動を展開します。ボランティア団体ですが、研修で学んだことを身近な住民に伝えていくことが大きな役割でもありますので、関心のある方、一緒に活動してみませんか。

会員総数：116人+準会員8人
 会長：平出 文子（国分寺地区）
 副会長：若林 久代（石橋地区）
 石川せい子（南河内地区）
 会計：大高 京子（国分寺地区）
 理事：出光 和子（南河内地区）
 大嶋 悦子（南河内地区）
 森 キイ（石橋地区）
 海老原新子（石橋地区）
 小林レイ子（国分寺地区）
 監事：平戸 朝子（南河内地区）
 片山 静江（石橋地区）



平成18年度の主な食生活改善事業

1. ヘルスサポーター21事業
2. 薄味習慣定着化活動
3. 運動習慣の定着化活動
4. 健康料理講習会
5. 乳製品普及講習会
6. 健康づくり指導者研修会
7. 子どもの料理コンクール
8. 親子の食育事業
ファミリークッキング・ジュニアクッキング・親子の料理教室など
9. その他
健康福祉まつりへの参加、市が行う健康づくり事業への協力

第一回下野市健康福祉まつりが開催されました。

5月27日（土）保健福祉センターきらら館周辺で、合併後初の『健康福祉まつり』が開催されました。

きらら館検診室で健康相談や骨密度測定が行われたほか、各種イベントの実施や多数の模擬店の出店があり、会場は大勢の家族連れなどで賑わいを見せました。



秋の収穫が待ち遠しい『田植え体験』



5月21日（日）財団法人南河内町農業公社主催による「第30回生産者と消費者のふれあいの場」として、田植え体験を実施しました。

当農業公社では、農産物収穫等体験を実施し、消費者の農業への理解を深め、市農産物特産品のPRと販路拡大を図っています。

この日は、五月晴れの下、約100名が参加し、幼児や小学生の子供達も泥まみれになりながら、にぎやかに田植え体験を行いました。参加者は実りの秋の「稲刈り体験」を楽しみに、会場をあとにしました。